

2020年度「卒業生キャリアアンケート」

調査実施報告書

2020年4月吉日
東邦音楽大学・東邦音楽短期大学
キャリア支援センター

実施概要

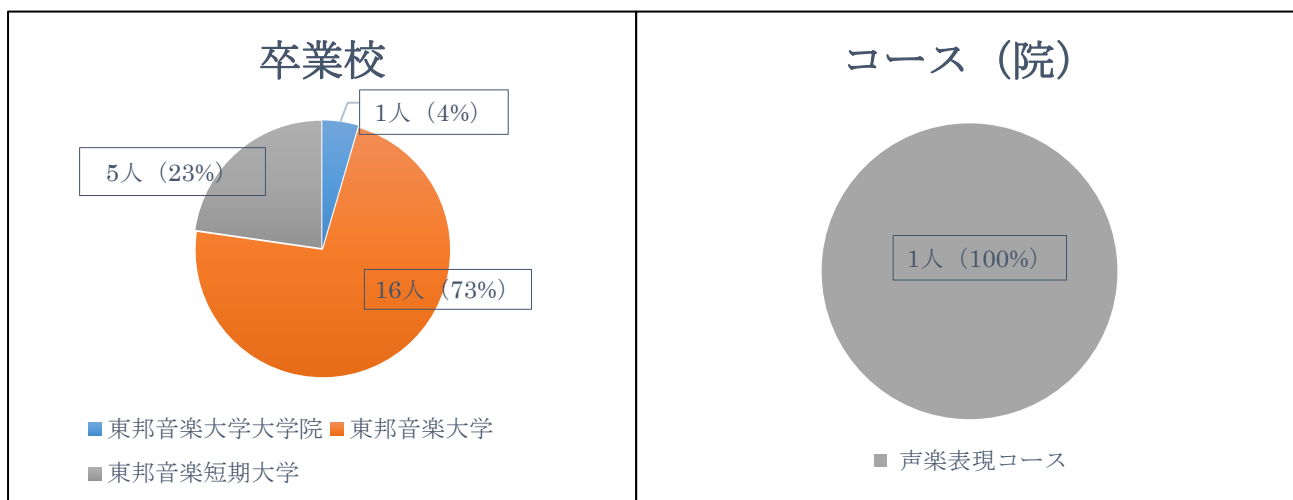
- ・目的: 本学の教育内容や学修環境改善等の参考とする。また、在学生の進路選択の一助とするとともに、卒業生の卒業後のキャリアサポートの充実を目途とする。
- ・実施方法: アンケート回答依頼を郵送のうえ、web アンケートを実施（返信はwebのみ）
- ・アンケート対象者: 卒業後3年目（平成27年度）の卒業生133名
（大学院: 9名、大学: 86名、短大: 38名）
- ・実施期間: 2020年3月3日発送。最終回答締切: 2020年3月29日
- ・回収率: 16%（回答件数: 22件）

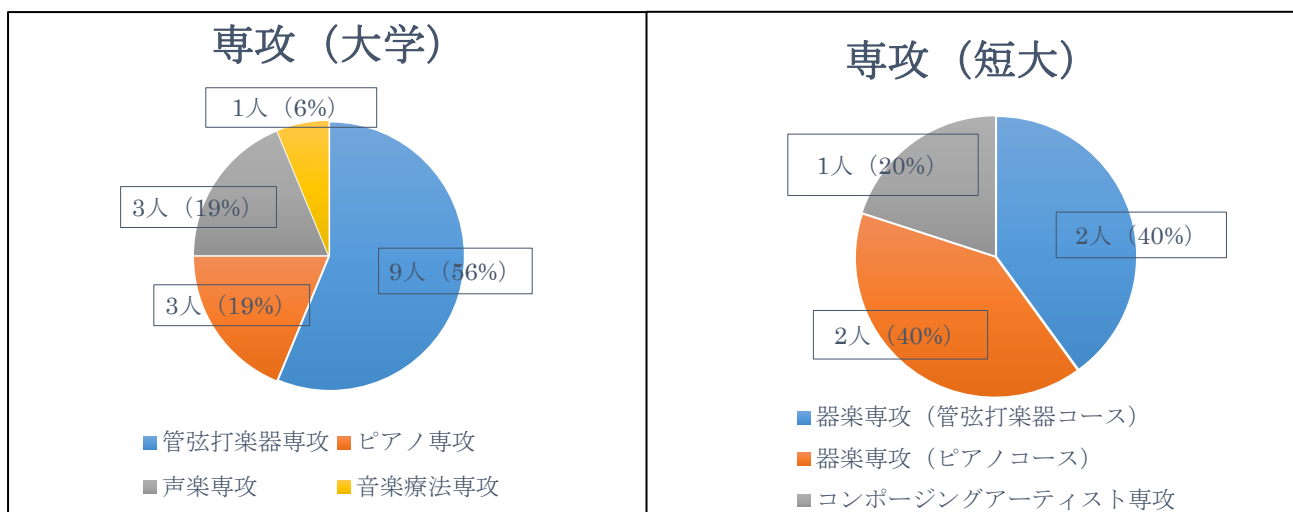
※母数が少数であることも影響し回答数が22件と少ない。データ分析での信頼度をあげるために、回収率増加の策を検討すること、併せて継続調査を実施のうえ、データを蓄積していくことが望ましい。今後は、経年比較等も含めさらなる分析を進めることが本学における教育の質向上に繋がると考える。

1. 調査結果と考察

※各グラフ内における（%）の前に記載している数値は、回答人数の実数。

【Q1、Q2】 卒業校及び専攻・コース

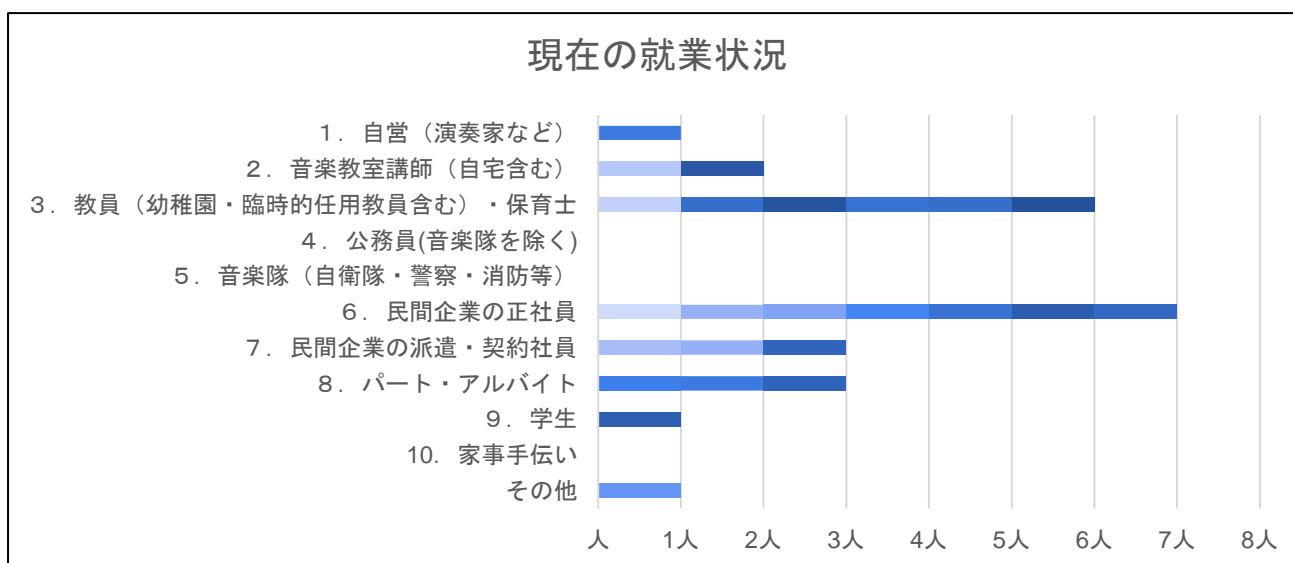




卒業校	回答数	専攻・コース
大学院	1	声楽表現 (1)
大学	16	管弦打楽器 (9)、ピアノ (3)、声楽 (3)、音楽療法 (1)、
短期大学	5	管弦打楽器 (2)、ピアノ (2)、コンポーザング (1)

() 内は回答人数

【Q3】 あなたの現在の就業状況についてお伺いします（複数回答）



（その他内訳：主婦）

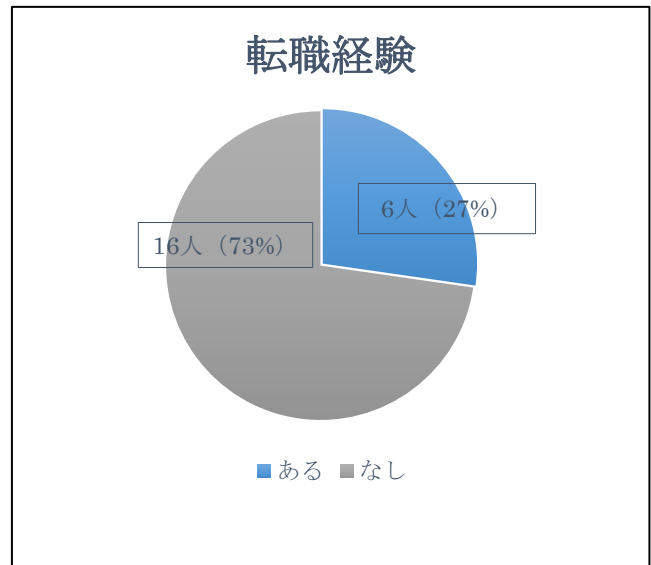
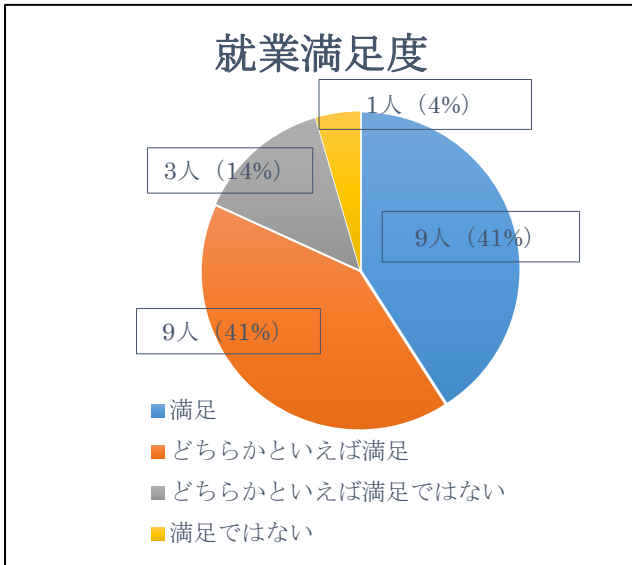
<自由記述：業界、会社名等>

介護士、千葉県内公立中学校、アマービレ音楽教室、株式会社舞浜リゾートライン、IT、薬局、東京日産自動車販売株式会社、株式会社三越伊勢丹、民間放送局(広島県)、小学校、エバー航空(台湾)、日本リハビリテーション専門学校作業療法学科

民間企業が最も多く、次いで教員が多い結果であった。業界については、IT、福祉、サービス業等多岐にわたっていることが自由記述よりうかがえる。就業状況と専攻による相関については、サンプル数が少ないため今回は分析をしていないが、今後の課題としたい。

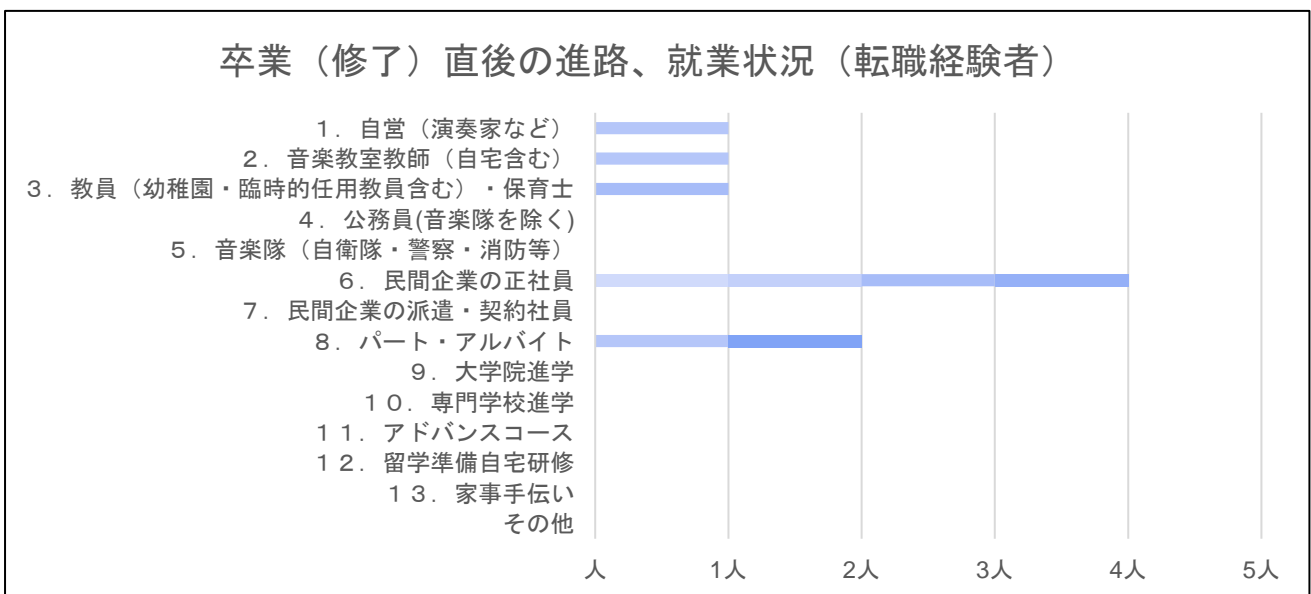
【Q4】現在の就業状況に満足していますか

【Q5】卒業（修了）直後からこれまでに、転職をしたことがありますか



回答者の82%が、現在の就業状況に「満足」、「どちらかといえば満足」しているとの結果であった。また、転職経験があると回答したのは27%であり、一般的に言われている3年以内に3割とされる転職率をわずかに切る結果となり、卒業時の就業先とのマッチングが比較的高いことがうかがえる。

【Q6】卒業（修了）直後の進路、就業状況についてお伺いします（Q5において、「転職経験あり」と回答した者（複数回答））

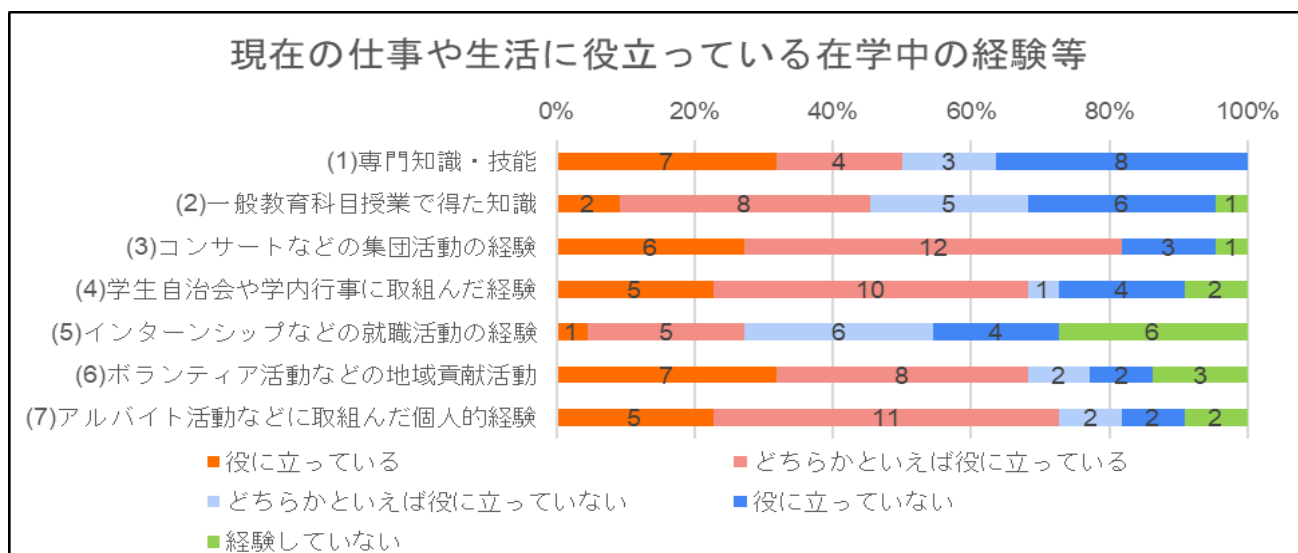


<自由記述：業界、会社名等>

株式会社エューツーリスト、IT、スワロフスキージャパン株式会社、民間放送局(新潟)

民間企業への転職経験が最も多い結果であった。また、卒業直後の進路（Q3）と併せて照査すると、同業他社への転職も見受けられる。

【Q7】 在学中に経験した次の事柄は現在の仕事や生活に役立っていますか



「役に立っている」、「どちらかといえば役に立っている」を併せると、「コンサートなどの集団活動の経験」が最も多い結果となった。次いで「アルバイト活動などに取組んだ個人的経験」、「学生自治会や学内行事に取組んだ経験」、「ボランティア活動などの地域貢献活動」の順となっている。本調査の回答者属性として、「民間企業の正社員」（Q3、Q6）が最も多いことを加味すると、「インターンシップなどの就職活動の経験」が最下位であり、他項目が上位を占めたことは興味深い結果である。本学での音楽を主軸とした学びが、民間企業においても存分に活かされていることが示された一方、今後のインターンシップの在り方を検討する必要性も示唆された。

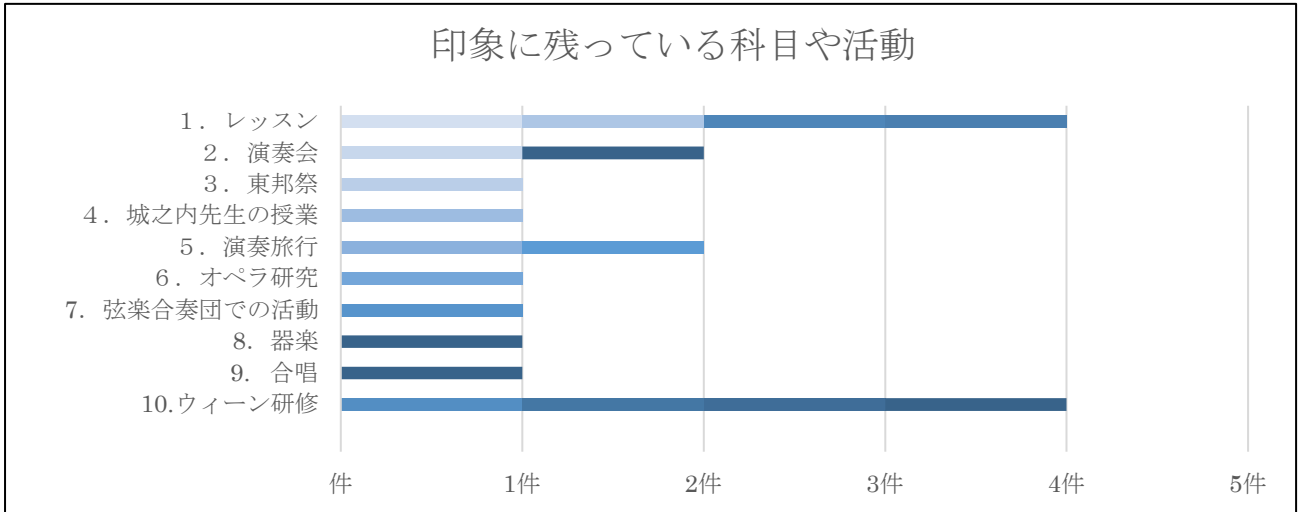
【Q8】 在学中に、このようなキャリア支援があればよかったなどありましたらご記入ください

1	全学生を対象にした教員採用試験対策講座
2	一般企業で活躍する方との交流
3	専門の先生の就職活動への理解と応援。
4	卒業生の講演・講話 ※
5	外資系企業に対するキャリア支援
6	様々な職業の方の講演会など ※

注) 自由記述を表記のまま転載。※については既実施。

東邦スタンダード授業内において、様々な職業の卒業生による講話を実施している。回答者属性として、「民間企業の正社員」(Q3、Q6)が最も多かったことから、一般企業に関する支援策の要望が多い傾向となったことが推察される。本調査結果や他大学の事例も参考に、本学に適した支援策を検討していくことが望まれる。

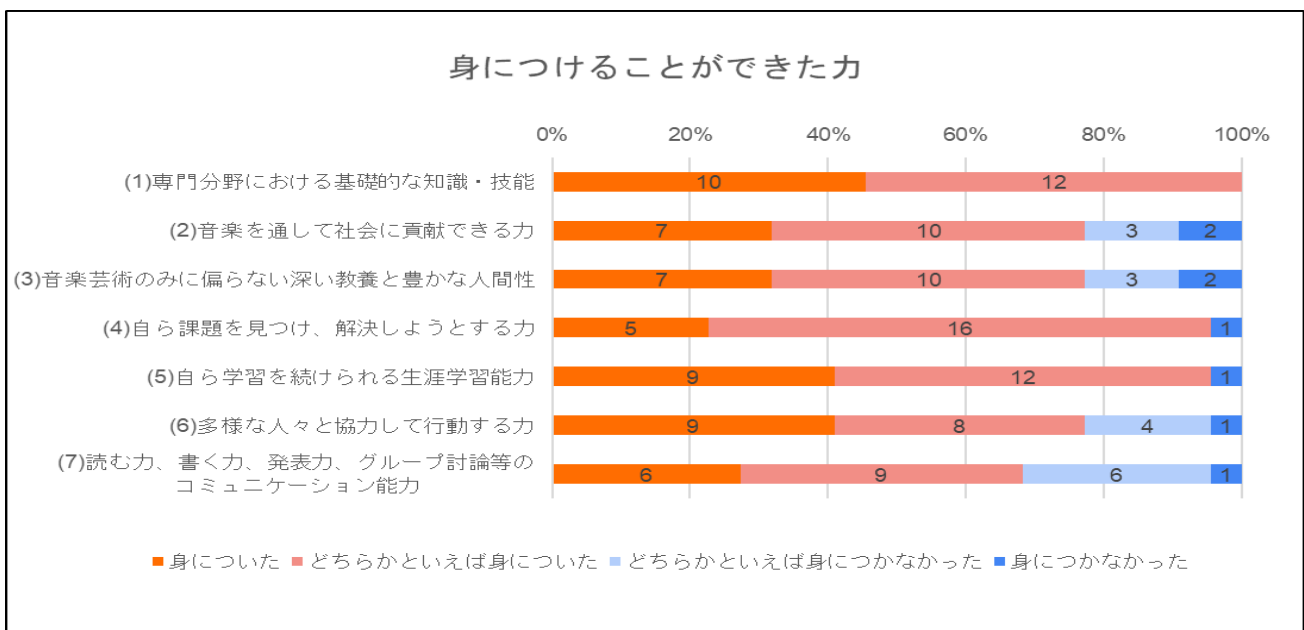
【Q9】在学中に印象に残っている科目や活動（演奏活動含む）はどのようなことですか



注) 自由記述を分類分けしグラフ化

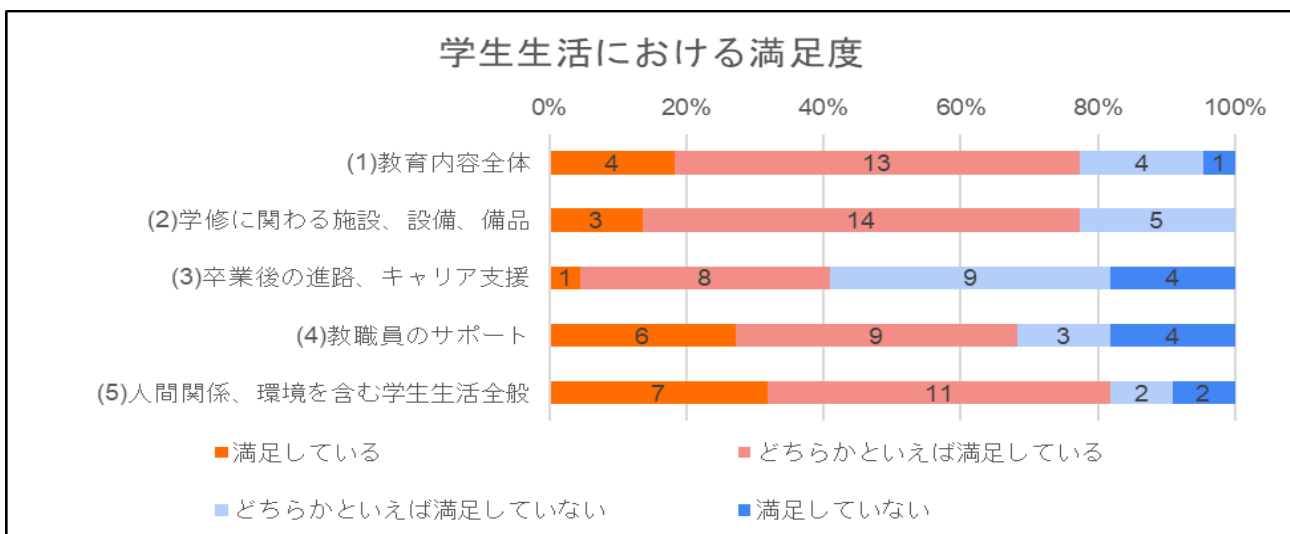
「レッスン」と「ウィーン研修」が同数で最も高い結果となった。次いで「演奏会」と「演奏旅行」であった。「東邦祭」を除いては、「音楽」に直結した科目や活動が挙げられた。「東邦祭」についても、演奏機会が多い内容であることを加味すると、音楽に関連した活動を指している可能性を含むと推察される。

【Q10】本学で身に付けることができた力について伺います



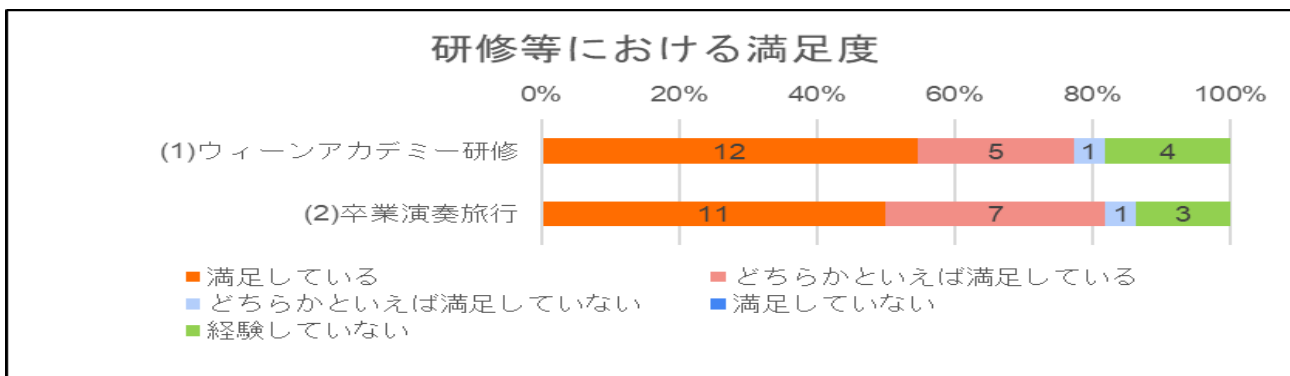
「身についた」、「どちらかといえば身についた」を併せると、「専門分野における基礎的な知識・技能」では回答者全員が、身についたと実感している。次いで「自ら課題を見つけ、解決しようとする力」、「自ら学習を続けられる生涯学習能力」では90%以上であった。課題解決力や生涯学習能力については、本学のカリキュラムを考慮すると、レッスン等の音楽の学びを通して身についた力であると推察される。また、7項目中6項目において、「身についた」、「どちらかといえば身についた」が70%を超える結果であり、本学における一定数の教育効果を証明しているといえる。「読む力、書く力、発表力、グループ討論等のコミュニケーション能力」では、約30%が身につけていないと感じている。音楽大学の特性を活かしながら本項目の学びについては検討が望まれる。

【Q11】 本学での学生生活における満足度について伺います

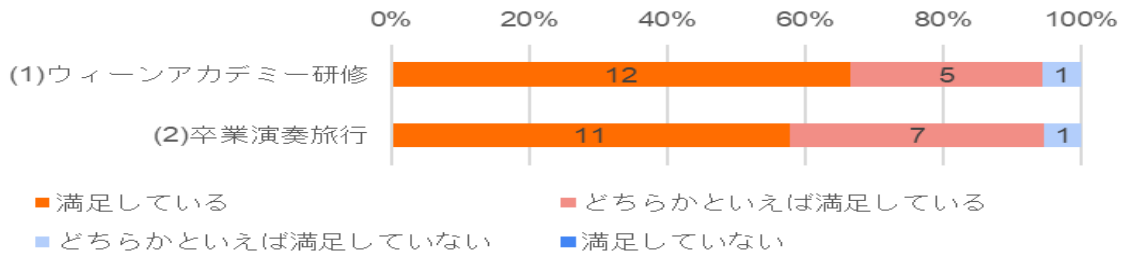


「満足している」、「どちらかといえば満足している」を併せると、「人間関係、環境を含む学生生活全般」が最も高く、次いで「教育内容全体」と「学修に関わる施設、設備、備品」が同数であった。一方「卒業後の進路、キャリア支援」では、約40%に留まっている。Q8（在学中に望むキャリア支援）での意見もふまえて今後の支援体制を検討する必要がある。また、Q10（身につけることができた力）の回答と比較すると、満足度に関する本項目の数値のほうが若干低い傾向となっているものの、5項目中3項目において75%以上の満足度が示された。

【Q12】 本学での以下の経験における満足度について伺います



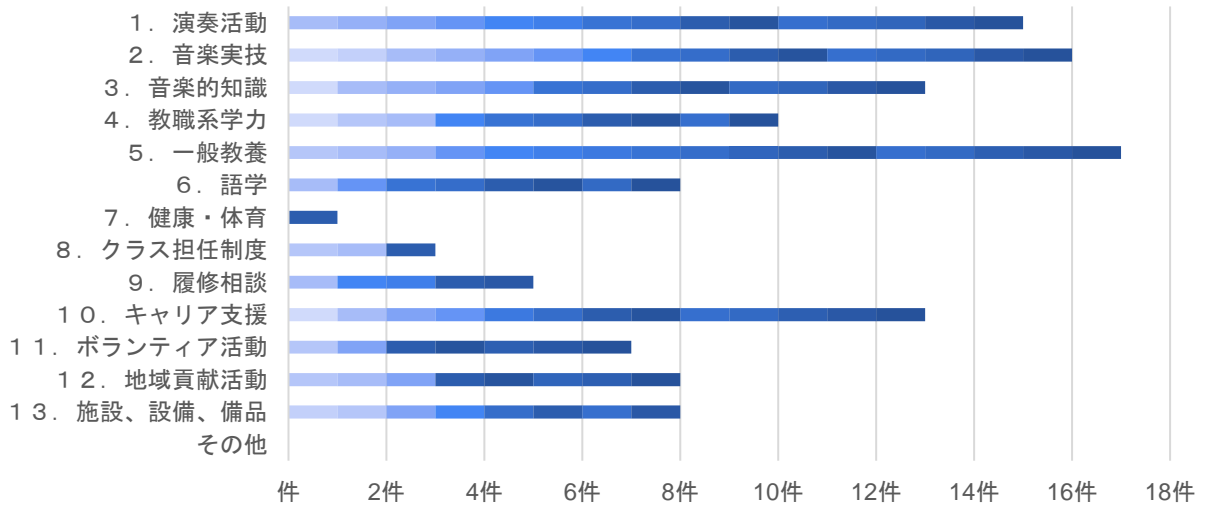
研修等における満足度（経験者のみ）



「満足している」、「どちらかといえば満足している」を併せると、いずれも75%以上が満足しており、「満足していない」は0%であった。また、「経験していない」を除くと、いずれも90%以上が満足しており、本学の特色である両カリキュラムが学生に高く評価されていることが示された。

【Q13】本学での学生生活を振り返って、人間形成の為に充実が望まれる教育の分野や支援体制について伺います（複数回答）

人間形成の為に充実が望まれる教育の分野や支援体制



「一般教養」が最も高く、次いで「音楽実技」、「演奏活動」、「キャリア支援」の順であった。回答者における就業状況（Q3、Q6）が大きく影響している可能性も含むが、音楽系項目以外において高い割合を占めた「一般教養」と「キャリア支援」については、音楽大学としての特殊性も考慮しながら、今後取り組むべき課題であると考えられる。

【Q14】 本学へのご意見ご要望などございましたら、ご自由にご記入ください。

1	管弦打の生徒にオーケストラスタディの授業は必修であるべきである。埼玉県のみならず各地から教授を招聘して、教員採用試験に向けての対策をもっと充実させるべきである。社会を生きる力を持った学生の育成が必要不可欠である。
2	指揮法の授業があればよいなと思いました。ピアノは、私は、今ロシアンメソッドに基づく奏法を卒業後別のレッスンを受けて学びました。本当に誰もが学び、身に付けるべき奏法です。本当にテクニク的なこと音楽的なこと、数段あがりました。何より、ピアノを弾くのが楽しくなりました。確か地方の音大で、ロシアンメソッドを教えることを売りにしている学校があると聞いたことがあります。日本は移行時期なのでこれから必ず広まります。東邦も売にされたら宜しいかと本当に思います。とてもよい先生ご紹介できます。若いピアニスト達です。(ロシアンメソッドといえば大御所の方が居ますがその方には関係ないです。)私のようなレベルでもかなり楽に弾けるようになりましたし、音色が聴けるようになりました。東邦の決してレベルの高くない生徒さんたちも、必ず武器になると思います。ご興味お持ちいただけたらご連絡ください
3	パフォーマンス総合芸術科がもっとはやくできてほしかった
4	とくになし！
5	在学中、お世話になりました。埼玉県中学校、音楽の本採用です。教職関連で私にできることがございましたら、未熟ではありますが在学生の皆さまのお力になればと思います。

注) 自由記述を原文のまま記載

2. まとめと今後の課題

本アンケート調査から、得られた示唆は以下のとおりである。

- (1) 転職経験者が27%にとどまっており、併せて現在の就業状況についても82%が満足していることから、本学生の卒業時のキャリア選択能力が高いことがうかがえる。
- (2) 「教育内容」、「施設・設備」、「学生生活全般」については、いずれも約80%が満足していた。一方「キャリア支援」については満足度が低い傾向であった。充実が望まれる教育分野や支援では、「音楽実技」や「演奏活動」などの音楽系項目よりも、「一般教養」を選択した割合がわずかながら多い結果となった。自由記述の意見も参考に、キャリア支援の向上と併せて、今後の課題として取り組むことが望まれる。一方で、「音楽大学」の特性から、入学時の進路希望として多く見受けられる音楽関連の進路（就業含む）先については、キャリア支援センターのみならず、教職員における更なる全学的な支援が必要であると推察される。
- (3) 「ウィーン研修」、「卒業演奏旅行」については、満足している割合が90%を超える結果であった（経験者のうち）。また、「印象に残っている科目」においても、両項目が挙げられており、本学の特色ある教育が学生からも高く評価されていることが示された。
- (4) 学生時代に身についた力では、「専門分野の知識・技能」のほか、「課題解決力」や「生涯学習能力」といった音楽を学ぶなかで培われたと推察される項目が上位に挙げられた。音楽大学としての本学の特色あるカリキュラムが一定の教育的効果に繋がっていることがうかがえる。

また、本アンケート調査における今後の課題は、回答分析の信頼度を高めるための回収率の増加とデータの蓄積である。回収率の増加については、現在実施しているWEBによる回答だけでなく、郵

送での回答も追加する等、実施方法の改善が考えられる。データの蓄積については、調査の継続実施や実施回数の増加等が考えられる。併せて、調査結果を多角的に分析し、学内の各方面と情報共有を行うことで本学の教育の質改善に繋げるとともに学生の学びの質向上に寄与するものとしていきたい。

以上